



絹川委員長「どれだけ大きな仕事をしているか。そのことを肌で感じてほしい。」



発注者の方より桂川右岸地域で進むビッグプロジェクトの説明を受ける。



現場事務所の方も「めったに見られない工法の現場です。しっかり勉強していただきたい」とエール。



パンフレットを見て、ニューマチックケーソン工法の説明に耳を傾ける生徒達。



圧縮空気を作るエアコンプレッサーがある部屋へ。あまりの音の大きさに生徒も困惑気味。



現場所長の方よりニューマチックケーソン工法の説明。模型を使って原理を知ろう。



高台の上で、現在の進捗状況について説明を受ける。時折、下を覗いて確かめる。



地下40mの作業室から土砂を運搬するマテリアルシャフト(黄色)と人が昇降するマンシャフト(青)



呑龍トンネルのシールドマシン発進立坑に来た。ポンプ場はトンネルと一体で計画された。



立坑内。すでにトンネルは供用されており、近くポンプ場へ通ずる地下水路も建設される。



「作ったモノが地図に残り、自分が死んでも生きていく」この仕事の素晴らしさを伝える所長さん。



生徒代表の挨拶。「普段経験できないモノを見学でき、とても勉強になりました。」